

先駆け戦略のKPI変更理由について

1 目標値の変更

冊子 ページ数	戦略		現行		変更後		変更理由	数値の考え方
			KPI	目標値 (H31年度)	KPI	目標値 (H31年度)		
P48	基本 目標 ③	1.移住の促進 ②移住相談体制の充実	市の移住相談窓口等を通じた県外からの移住者数(人)※累計	100	市の移住相談窓口等を通じた県外からの移住者数(人)※累計	960	H27年度に移住者数を把握するための転入窓口アンケートを初めて実施し、現状の数値を把握できたことにより、H27年度を基準に目標値を変更するため。 (H27年度 117人)	H27年度の実績値から、毎年度150~250人の増加を目指し、H31年度には累計960人を目標とする。
P54	基本 目標 ④	2.産業の競争力強化(業種別取組) ①若者にも魅力的な農林水産業の成長産業化	「まつやま農林水産物ブランド」産品等の新規取扱い店舗数(店)※累計	150	「まつやま農林水産物ブランド」産品等の新規取扱い店舗数(店)※累計	217	H27年度から首都圏に加えて、関西圏等の新たな圏域への販路開拓に取り組んだ結果、H27年度に目標値を達成したため。 (H27年度 177店)	今後も一定の販売店舗の増加が見込めるが、新規開拓と既存店舗へのフォローの最適なバランスを考慮し、年間10店舗ずつの増加を目指す。
P60	基本 目標 ⑤	2.安心で健康な暮らしの確保 ②安全・安心な暮らしの推進	指定避難所への資機材整備数(箇所)※累計	162	指定避難所への資機材整備数(箇所)※累計	187	H25年度から実施している主要避難所への資機材整備について、H28年度までの4か年の整備計画に基づき目標値を設定していたが、H28年度以降の「主要避難所への資機材整備計画」を改定したため。	H28年度は、公民館33館に加え、私立の学校10箇所へ追加配備を行い、H29年度以降は、さらに対象を拡大して、一定規模の収容人員が確保できる私立・県立等の中等教育学校、高等学校、大学などの主要避難所へ計画的に整備を行う方針であり、年間4~6箇所の整備を目標としている。

2 基準値の変更

冊子 ページ数	戦略		現行		変更後		変更理由	数値の考え方
			KPI	基準値 (H26年度)	KPI	基準値 (H27年度)		
P46	基本 目標 ②	2.結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 ⑥子育て拠点や居場所づくりの整備	保育所等待機児童数(人)	0	保育所等待機児童数(人)	95	H27年度に国の待機児童の定義として、「求職活動中の保護者の子どもを含める」などの変更が行われた。その結果、H26年度までの定義に基づいて算出された基準値と、H27年度の実績値の算出根拠が異なることとなったため。	待機児童の新たな定義に基づき算出されたH27年度の実績値である95人を基準値とする。